

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(長野スーパー株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	社内全体会議で毎月差別防止の研修を実施し周知徹底を行っている。社内ネット掲示板で資料を掲示し意識付けを行う。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントの防止及び排除に努める旨を就業規則に明記。 ハラスメント対応教育を随時受講。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法を遵守し長時間労働防止のために勤怠登録システムの導入及び残業申請フローの整備を行い残業時間の管理を行っている。								8.5 8.8									
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者の雇用はないが、業務において座別人権侵害がないように社内会議、社内ネット掲示板で周知徹底している。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生規則を就業規則に明記。月1回社内全体会議で安全教育を実施している。			3					8									
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	社内全体会議で定期研修を実施している。 監理者が外部研修に参加している。			3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	高齢者の新規・継続雇用を通じて多様な人材が活躍できる場を構築している。 【予定】現場業務の女性雇用を推進していく。					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3									
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社内研修を毎月開催。 外部団体主催の講習会などに積極的に参加することを認め、且つ勤務時間として計上することを認める。				4	5.5		8	9									
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	原則全員正社員雇用とする。(就業時間の調整は短時間正社員として個別対応)。労働契約法等の改正内容に理解を務め、同一賃金、同一労働の原則に沿った体制で対応。					5.5		8.5	10.2 10.3									
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	「健康づくりチャレンジ宣言」エントリー事業所 スマートライフプロジェクト参加 健康経営優良法人2024認定			3				8										
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	長野県優良産廃業者に委託し、manifestoにより廃棄物の種類、量を毎月把握管理している。									11.6	12		14.1					
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進。電力使用量を前年と比較し社内に掲示。使用についての意識付けを行う。							7.3				13						
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	排出温室効果が表示される空調機器を使用。							7.2 7.3			12.4	13.3						
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している(2019年-2024年) 有害化学物質の講習会を担当者が受講。			3.9		6.3				11.6	12.4							

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
環境	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	監理者が外部研修会に参加し見識を深め、環境負荷の少ない工法、部材、工具等の選択採用に取り組んでいる。						6.6							15				
	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	定期的に社内備品の棚卸を行いリユースに努めている。リサイクル可能な紙、ペットボトル、プラスチックは個人で分別しリサイクルに取り組んでいる。マイボトルの使用を推奨。									13	14.1							
	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	社内の水の使用を管理、前年比の増減を把握し社内周知している。節水商品を提案し、資源の有効利用に取り組んでいる。						6.4 6.6											
	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7			12	13.3	14	15				
	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ											12.6							
	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	社内備品にグリーン商品、エコマーク商品を積極的に導入している。グリーン住宅ポイント制度を推奨している。住宅省エネキャンペーンに参加し該当商品の購入を推奨している。										12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記し、入社時教育を実施して周知徹底している。														16 16.5			
	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記し、入社時教育を実施して周知徹底している。														16			
	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	社内の情報管理ルールを策定し周知している。							8.2 8.3	9									
	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報管理規定を制定し、体制を整備している。個人情報管理の重要性を社内研修で教育している。														16			
	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																16		
	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている。					5			8		10	12	13	14	15	16	17	
	<input type="checkbox"/>	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】パートナーシップ構築宣言を作成・公表している			3					8	9	10						17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

